

	主な意見(第 19 回 10/30)	内 容		対応する(道)第 1 期計画施策	(道) 第 2 期計画に向けた意見等	対応（案）
2	教育に関する取組	8 小中学校からの教育の推進	学習指導要領に基づく教育	教育・広報による普及啓発推進	【北海道作業療法士会】 アルコールによる身体面や心理面への影響だけではなく、心の不安定さがアルコール摂取に影響すること、そのため自己の心理状態を理解しコントロールすることが大事であることを、一次予防である普及啓発内容に含めていくこと	・各構成機関での普及啓発活動の充実を図ることができるよう方策を検討していきます。
		9 家庭も巻き込んだ対策推進	啓発資料による周知	教育・広報による普及啓発推進	【北海道作業療法士会】 アルコールによる身体面や心理面への影響だけではなく、心の不安定さがアルコール摂取に影響すること、そのため自己の心理状態を理解しコントロールすることが大事であることを、一次予防である普及啓発内容に含めていくこと	・各構成機関での普及啓発活動の充実を図ることができるよう方策を検討していきます。
5	人材育成に関する取組	27 社会福祉士・看護師に対する教育推進	教育カリキュラム見直し	医療の充実等、相談支援	【北海道作業療法士会】 関連する他の専門職（作業療法士、精神保健福祉士、公認心理士等）に対する教育内容の充実（カリキュラムの確認と必要に応じた教育内容の見直し）を追加	・現在、国で徐々にカリキュラムの見直しを検討しているところであり、この動きを注視していきます。
	主な意見(第 21 回 2/6)	内 容		対応する(道)第 1 期計画施策	(道) 第 2 期計画に向けた意見等	
20	精神保健福祉センターの取組	79 依存症相談拠点が増加、相談件数が増加傾向	実施メニュー明確化し対策が強化、認識の高まり	相談支援	【北海道立精神保健福祉センター】 精神保健福祉センターにおいても、ここ数年はアルコール依存の相談件数が増加しています。その相談区分は、電話相談がほとんどで、来所相談はこの 10 年以上 0 ～ 3 件/年を推移しています。北海道は広大であり、また多くのアルコール健康障害に関する相談は保健所でも十分対応可能であると考えられます。第 1 期計画では、道立精神保健福祉センターが全道の中心となる相談拠点と位置付けられていますが、その具体的な対象は明記されていません。 これらを、踏まえ、道立精神保健福祉センターはアルコール健康障害に関する相談のうち、複雑又は困難なものに対する相談を行う、との位置付けとすることを提案します。 なお、「複雑又は困難なもの」は精神保健福祉センター運営要領に明記されている相談対象です。	・提案のとおりとし、相談支援の具体的な取組に追加します。
		80 センター長会の広域研修で対策の底上げ、相談支援の均てん化、技術向上必要あり		相談支援	【北海道立精神保健福祉センター】 この広域研修の受講対象によって、精神保健福祉センターの職員だけでなく、各地域の支援者が受講することができ、全道各地で全国レベルの相談支援体制が整備される方向になっていくことは、大きな意義があると思います。	
21	産業保健	81 勤労者対策が弱いので強化すべき		健康診断及び保健指導	【北海道作業療法士会】 2 次予防への取り組みが必要ではないでしょうか。	・産業医を含めた健康診断等の充実を図るため、関係機関と連携体制を構築できるよう具体的な取組に盛り込むことを検討していきます。
22	人材育成	82 医療従事者のアルコール健康障害の理解不足。医学生、産科医への啓発、情報提供、教育の推進をすべき		医療の充実等	【北海道作業療法士会】 関連する他の専門職（看護職、作業療法士、精神保健福祉士、公認心理士等）及び学生に対する啓発、情報提供、研修・教育内容の充実を追加	・現在、国で徐々にカリキュラムの見直しを検討しているところであり、この動きを注視していきます。
		83 かかりつけ医への医師会の生涯学習、教育研修システム連携で情報共有を進めるべき		医療の充実等	【北海道作業療法士会】 関連する他の専門職（看護職、作業療法士、精神保健福祉士、公認心理士等）団体の生涯学習、教育研修システム連携で情報共有をすすめることを追加	・現在、国で徐々にカリキュラムの見直しを検討しているところであり、この動きを注視していきます。
27	高齢者のアルコール問題	94 精神保健福祉センターでも高齢者の相談増加。		相談支援	【北海道立精神保健福祉センター】 第 23 回会議 参考資料 2 では、左記のような意見整理となっていますが、第 21 回会議資料および議事録では、高齢者の相談増加は明記されているが、「精神保健福祉センターでも」の根拠は不明確である。当センターの依存症相談においては、高齢者の相談増加はみられておらず、北海道における第 2 期推進計画策定の協議においては「精神保健福祉センターでも」は削除すべきと考える。	・高齢者のアルコール問題に関する相談は、複雑困難な事例が含まれることもあるため、精神保健福祉センターでも対応をしていくこととしますが、記述については実態に即した形で記載することとします。